

重点事務事業進行管理表

年度	令和6年度	No.	1	進行管理者	都市整備部長	
事務事業名	多摩都市モノレール関連事業（多摩都市モノレール沿線まちづくり方針策定事業）					
事業の概要	多摩都市モノレールの延伸後を見据えた持続可能なまちづくりを進めるため、沿線の将来像等について定める、「（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」を令和5年度から令和6年度にかけて策定する事業					
これまでの経過	令和5年度は市民ワークショップ、子ども・市内事業者の意見聴取を実施し「（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」の案を作成した。					
本年度の予算措置	総事業費	6, 4 1 3千円		うち一般財源	3, 2 0 8千円	
本年度の目標	庁内で更なる検討を進めた後、パブリックコメント等を実施し、令和6年度中に「（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」を策定する。					
上半期の計画と実績	計画	・「（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針の案」に関する庁内協議会での検討（4月～9月）		実績	・「（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」の庁内検討を行った。（4月～9月）	
下半期の計画と実績	計画	・パブリックコメント（11月頃） ・「（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」策定（令和7年3月）		実績	・パブリックコメント（11月） ・「武蔵村山市多摩都市モノレール沿線まちづくり方針策定」（令和7年3月）	
中間評価	達成度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上				
	取組の成果	パブリックコメントの実施に向けて、「（仮称）多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」の検討を行い、素案として取りまとめた。				
期末評価	達成度	目標以下 ・ 目標どおり ・ 目標以上				
	取組の成果	予定どおり11月にパブリックコメントを実施し、まちづくり審議会及び市議会に説明を行った上で、令和7年3月に「武蔵村山市多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」を策定した。				
	事業費の実績	総事業費	6, 4 1 3千円		うち一般財源	4, 2 3 1千円
	今後の方針	本方針及び同時に策定した「武蔵村山市立地適正化計画」を踏まえ、まちづくり協議会の設置等を行い、駅ごとにまちづくりの検討を進めていく。				